

決済動向

— 平成7年3月 —

(平成7年5月12日)

1. 日本銀行における決済関連計数

3月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.2万件（前年比+3.2%）、金額ベースでは345.2兆円（同+3.3%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は321.9兆円（前年比+3.9%）、民間の集中決済制度に係る資金決済は15.6兆円（同△9.3%）となった。

3月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.4万件（前年比+30.6%）、金額ベースで129.3兆円（同+37.3%）となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.2万件（前年比+28.2%）、金額ベースで216.5兆円（同+24.7%）となった。

3月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで69.9万件（前年比+0.4%）、金額ベースで5.8兆円（同+9.0%）となった。

3月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高7.2兆円（前年比△9.5%）、支払高7.6兆円（同△0.7%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、3月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは44.0万枚（前年比△5.4%）、金額ベースでは6.1兆円（同△45.3%）となった。

3月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは360.4万件（前年比+5.9%）、金額ベースでは9.2兆円（同+4.6%）となった。

3月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは3.6万件（前年比+23.9%）、金額ベースでは31.2兆円（同+11.8%）となった。

3. その他

3月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は21.3万契約（前年比+55.8%）、月末の建玉数量は127.3万契約（同+10.4%）となった。

2月のSWIFT総送信件数（本邦分、月中合計）は187.7万件（前年比+12.5%）となった。

(信用機構局)